



弓削高等学校 <http://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



古巣羽ばたく24名の卒業生

ここから始まる物語

3月1日(水)、平成28年度第68回卒業証書授与式をせとうち交流館で挙行し、多数のご来賓の皆様と保護者の皆さまに見守られながら卒業生24名が学び舎を後にしました。

式では、勝田毅校長から「いざというとき一差し舞えるよう様々な経験を積み、人間性を磨いてください。」と式辞があり、卒業生代表の重田朋未さんがこの弓削高校での日々を支えに、自分を奮い立たせて困難に立ち向かっていきます。」と力強く答辞を述べました。

生徒たちは少人数ながら絆を深め、充実した学校生活を送ることができました。今まで卒業

生を支えていただき、本校の教育活動に御助力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。



仲間と想像する未来の授業

3月14日(火)、愛媛県庁で行われた、第2回ICT教育フェスタに本校生徒が参加してきました。ICT機器を活用した未来の授業アイデアソンというテーマで、こんな授業があったらいいなというICTを活用した授業

について考え、意見交換したり、全体場で発表したりしました。参加した2年生の濱田日和さん大林椿季さんは「私たちは発表兼進行を担当しました。意見をまとめたり、進行する中で様々な意見に触れることができました。また他のグループの斬新な意見や発表を聞くことができ、とても勉強になりました。」と話していました。



愛であふれる 上島町へ

あい♥あいフェスタ・レポ

あらたな一歩!



生涯学習課
中西 智恵



3月11日(土)、12(日)に開催した第1回あい♥あいフェスタについてご紹介します!これは、地域のつながりやいろいろな「あい」をわきあいあい感じてもらい、楽しい一日を過ごしてもらおうという企画です。午前は「その後のはなちゃんのみそ汁GIFT」「いただきます」のドキュメンタリー映画を上映。昔ながらの和食、みそ汁の力、私たちが忘れていた大切なものがそこにはありました。子どもたちの笑顔、生き生きとした姿に自然と涙があふれ、見終わった後、みんなで食べた生名と佐島の味噌で作ったみそ汁は本当においしく、手づくり味噌とおばちゃんたちの温かさが伝わる一杯でした!午後までの間、障がい者・高齢者の疑似体験、車イス体験、妊婦体験も行いました。臨月のお腹を体験した男性は、「子どもを産むってこんなに大変なんだ。」と、後で奥さんに感謝してしま

た。素敵ですね!午後からのトークセッションでは、「障がいってなんだろう」をテーマに障がいのある当事者と一緒に活動している方がパネラーとして、本音トークを繰り広げました。「障がい」って人それぞれに定義が違っている。障がいがあってもなくても、生きづらいと思うこともあれば、楽しいと思うこともたくさんある。みんな幸せに生き生きと暮らしたいと思っている。私たちの偏見や思い込みが、ただ当たり前で真っ直ぐなことを歪ませてしまうのだと感じました。会場いっぱい集まった「あい♥メッセージ」は660枚!ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。「つながろう!かみじま」をテーマに何とか形になったこの企画。まだまだ最初の一歩ではありますが、あらたな一歩!また来年、さらにたくさんの方とつながれることを期待しています。



弓削商船高等専門学校 <http://www.yuge.ac.jp/>



起業家甲子園で総務大臣賞を受賞

マイコン部が起業家甲子園で総務大臣賞を受賞

3月7日(火)、コクヨホール(東京都品川区)にて第6回「起業家甲子園」が開催され、本校のマイコン部チーム「Knee's Needs 一英姿颯走一」が全国8チームの中から、総務大臣賞及び企業賞5件に選ばれました。

膝や姿勢の状態を収集・分析してランナーにアドバイスをするシステムを作成し、3月5日(日)に開催された「ゆめしま海道いきなマラソン」にチームメンバーが参加して動作や完成度を確認しました。

今後は、事業化を目指し、さらにシステムの改善を進めていきたいと意気込みを語っています。



平成28年度

卒業式及び修了式を挙行政

3月11日(土)、平成28年度電子機械工学科・情報工学科卒業式及び専攻科(生産システム工学専攻)修了式を本校第二体育館で挙行政、卒業生68名・修了生5名の計73名が学び舎を後にしました。

木村校長から「柔軟な智恵とたゆまぬ努力で、未来を支える

エンジニアとなってください」と式辞があり、卒業生総代の中山颯さんが「学びに終わりは無い。弓削商船高専で学んだ5年間を誇りにして、これからも精進していきたい」と力強く答辞を述べました。

春空の日差しの下、卒業生・修了生たちの表情はこれからの輝ける未来に期待を弾ませていくかのように輝いてみえました。



島おこし協力隊活動報告 地域の魅力は普段の生活の中に

こんにちは、島おこし協力隊の佐藤です。上島町に越してきて、もうすぐ1年が経とうとしています。冬から春のはじめにかけて様々な海藻や柑橘類を目にし、特に柑橘の種類之多さには本当に驚かされました。それぞれに個性があり、どれも美味しくいただきました。昨年までは、みかん・伊予柑・八朔くらいしか知らなかったのに、ずいぶんと詳しくなりました。

3月に「あい♥あいフェスタ」が弓削・岩城にて2日間開催され、私は【手作り味噌と家庭の和食】をテーマとしたドキュメンタリー映画鑑賞後に、おにぎりのみそ汁をふるまいました。上島町内では現在、生名島と佐島のふたつの婦人グループが販売用に味噌を手作りしています。今回のイベントではその両方のグループにご協力いただき、一緒にみそ汁を作り、味噌の販

売を行いました。普段、当たり前のように献立の一部として食べているみそ汁ですが、手作りの味噌で、それぞれ違う出汁と具で作った2種類のみそ汁はたいへん好評で、嬉しいことに皆さん汁まで残すことなく召し上がっていただきました。私は、甘い麦味噌に初めは驚きましたが、しっかり取った出汁と島の麦味噌はとても相性が良く、すっかり麦味噌が好きになりました。

今回のご縁で、婦人グループの方々と一緒に作業をすることが増え、島で普段食べられている料理などを色々と教わっています。島での当たり前の食生活も他所から見たら珍しく新鮮であることが多く、地域の魅力というものは普段の生活の中にたくさんあると感じています。今後、そんな地域の魅力をより多くの方に知っていただきたく活動していきたいと思っています。



手作り麦味噌がほんのり甘い具沢山みそ汁



島おこし協力隊
佐藤 仁美